

印西市デザイン会議とは？



印西市デザイン会議は、経営ビジョン「『緑育職住』近接の、未来都市。」の実現に向け、公民連携プロジェクトをはじめとする各種施策について、それぞれの分野で実践的な知見を有する方々から、専門的かつ横断的な視点でご助言をいただく場です。

ここでいう「デザイン」は、建物や風景といった見た目のことではありません。

そこで人がどう過ごし、どんな時間を重ねていくのか——暮らしのかたちまで含めて構想し、その実現に向けた道筋を組み立てていくことを意味しています。

デザイン会議で取り扱うテーマ

（仮称）印西市ブランディング戦略

す
ぐ
隣
り。
べ
ん
り
の
み
ど
り
と

新たに決定したコンセプトロゴをベースに、本市の新たなブランドを築き、まちの価値を向上させ、市外からの転入を促進するとともに、市民の定住意向を高めます。

（仮称）印西市エリアビジョン

印西市では、それぞれの地域が持つ魅力や特徴を生かしたまちづくりを進めるため、「エリアビジョン」の策定を進めています。

木下駅圏、小林駅圏、千葉ニュータウン中央駅圏、印西牧の原駅圏、印旛日本医大駅圏、里山地域の6つのエリアについて、人口や地域資源などのデータを分析し、各エリアがそれぞれの強みを発揮しながら、互いに補完し合い、持続的に発展していくまちづくりを目指します。

（仮称）木下構想の策定



木下駅前にぎわい広場を活かした公共機能の再編を行うとともに木下南口商店街では空き店舗活用を行いながら、周辺が一体となって個性を持ったまちづくりを行うことで日々の暮らしの質や利便性を高めます。

牧の原公園プロジェクト



牧の原公園は、こどもや家族をはじめ、さまざまなライフステージの皆さまが日常的に利用できる場所へと再整備し、地域の魅力と暮らしの質を高めてまいります。

千葉NT歩道活用



道路・公園等の公共空間を地域資源として捉え、その利活用を促進することにより、地域の魅力向上と賑わい創出を図ります。

空き公共施設活用



空き公共施設を活用し、エリアに新たな魅力を生み出すとともに、地域コミュニティの活性化を図ります。

移住・定住促進

豊かな自然環境や良好な住環境を次世代へ引き継ぎながら、多様な世代から「住んでみたい」「住み続けたい」と選ばれるまちづくりを進め、活気ある地域コミュニティづくりを目指します。

印西市デザイン会議のメンバー

委員



（株）オープン・エー 代表取締役
馬場 正尊
（ファシリテーター）
建築・リノベーション・公共空間活用を手がける建築家



PLANKTON inc 代表
小林 麻衣子
「ことば」を軸に、企業・施設・街のブランディングを担う



（株）エンジョイワークス 代表取締役
福田 和則
空き家再生と参加型まちづくりを全国で展開する起業家



リージョンワークス（同） 代表
後藤 太一
都市再生とエリアマネジメントを各地で支援する都市計画家



印西市長
藤代 健吾

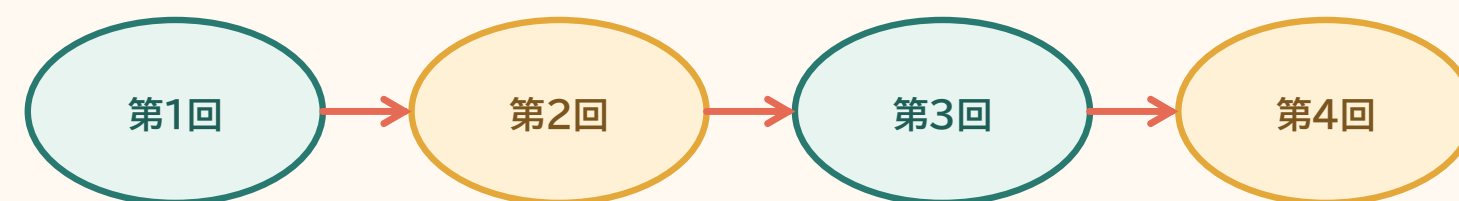


印西市副市長
野崎 崇正



（同）まちみらい 代表
寺沢 弘樹
自治体経営、PPP/PFI、公共施設マネジメントの実務家

デザイン会議のスケジュール



令和8年度は、全4回の開催を予定しています。
各回では、まちの現状や課題を共有しながら、めざす将来像の方向性や、各プロジェクトの進め方、事業間の連携の在り方について、専門的な見地からご助言をいただきます。
これらを重ねることにより、個別に進む取組がまち全体の将来像の中で結びつき、実現に向けた道筋が描かれた状態を目指します。
また、第4回では、本会議のメンバーによるシンポジウムを予定しています。

（注意）内容は予定であり、変更となる場合があります。